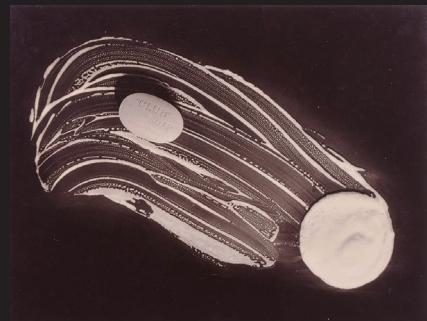


今日、スマートフォンやデジタルカメラ等の驚異的な発達により、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)は世代を問わず広く浸透しています。その中で写真の占める重要性は言うまでもありません。写真という媒体は、芸術の一分野としても1世紀の歴史を持っています。絵画や彫刻にくらべその歴史は浅いかもしれません、それでも約100年の間には多くの名作、傑作を生みだし、ギャラリーや美術館、写真集で発表、展示され、高い評価を得てきました。

2021年度の開館をめざして整備の進んでいる大阪市の新しい美術館では、写真作品においても優れたコレクションを所蔵しています。第2次世界大戦前後に大阪で活躍した丹平写真俱楽部や浪華写真俱楽部の写真家たちの作品、それとほぼ同時代のヨーロッパの前衛写真家たちの作品、そして現代美術家の写真を使った作品です。今回は大阪府が所蔵する大阪で活躍した写真家と、1990年に開催された国際花と緑の博覧会の際のパビリオン「花博写真美術館」に展示された日本と世界の写真家たちの作品からなるコレクションと合わせ、そのなかから約100点の作品を展示します。写真芸術の原点とその歴史の多様性にふれる好機です。

また本展は芸術にかかる仕事に興味を持つ学生が、外部研修生(インターン)として参加するワークショップの一環として実施するものです。優れた作品に出会うとともに、展覧会づくりに参加した学生のフレッシュな感性も随所に見られることでしょう。



小石清《クラブ石鹼》1931年
ゼラチンシルバープリント
大阪新美術館建設準備室蔵



入江泰吉《大和路 秋深む法起寺》1986年
大阪府蔵



岩宮武二《北山杉雪景(「京都」より)》
カラープリント 大阪府蔵

関連イベント ピンホールカメラでとってみよう!

自分でピンホールカメラを作り、そのカメラで撮影、現像、プリントします。完成した写真は会期中展覧会場に展示します。

※作ったピンホールカメラはお持ち帰りいただけます

【会場】大阪府立江之子島文化芸術創造センター 2階 ルーム11

【アクセス】大阪市営地下鉄千日前線・中央線「阿波座」駅下車、8番出口から西へ約150m。

【日時、対象】11月25日(土) 対象／小学生 11月26日(日) 対象／小学生から大人

12月10日(日) 対象／小学生 いずれも午後1時から午後4時30分まで

※小学校3年生以下は要保護者同伴

【定員】各回10名 要事前申込み 【参加費】無料

【持ち物】お菓子の箱(130mm×180mm以上の大さで、蓋付きの箱が望ましい)

【申込方法】(1) 参加者のお名前 (2) 年齢 (3) 日中連絡のつく電話番号(ファックスでお申込みの方は返信用ファックス番号も) (4) 参加希望日を明記の上、下記までお申込み下さい。

「ピンホールカメラワークショップ申込」係

・メール／art@enokojima-art.jp ・FAX／06-6441-8151

※定員に達し次第、受付終了いたします。※いただいた個人情報は、当イベントの連絡のみに使用します。

学芸員のおススメコレクション かねこじゅん

大阪市立東洋陶磁美術館 金子 潤《無題》「ダンゴ」シリーズ

これは何ですかと聞かれ「ダンゴです」と言うと、壺や彫刻という答えを期待していたのか、相手は驚いたような顔をしました。金子潤(1942-)は1963年に渡米し、現在もオマハを拠点に制作しています。日本で陶芸を学ぶことのなかった彼が飛びこんだのは、ピーター・ヴォーコスに代表される抽象表現主義作家たちの陶表現でした。「ダンゴ」の名の通り、やや扁平で柔らかな丸みを持つ本作は、鮮やかな赤の発色と艶やかな透明釉の溜り、素朴でさえある素地の質感が魅力的です。既成の枠を超えた自由な発想で、陶による表現の可能性を伝えてくれます。(大阪市立東洋陶磁美術館学芸員 宮川智美)

※今回紹介した作品は、大阪市立東洋陶磁美術館で開催中の国際巡回企画展「イセコレクション—世界を魅了した中国陶磁」展の併催「受贈記念金子潤」に出品されています。(12/3日まで)



金子潤《無題》2014年 h: 63.5cm
大阪市立東洋陶磁美術館蔵
藤田裕一氏寄贈 写真:畠山崇

大阪市立東洋陶磁美術館 ●所在地 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26 ●TEL 06-6223-0055 ●FAX 06-6223-0057 ●アクセス 京阪中之島線「なにわ橋駅」1号出口すぐ、地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」1号出口、「北浜駅」26号出口各駅から約400m ●ホームページ <http://www.moco.or.jp>

